



小5の基本表現

指道アイデア

こんな風にやってみたら？

岐阜大学教育学部 准教授

瀧沢 広人



CONTENTS

- 1 プロフィール・カードを作ろう！ 4
- 2 好きな教科はな〜に？ 6
- 3 誕生日で Who am I? クイズを作ろう！ 8
- 4 My 放課後ルーティーン 10
- 5 Can を使って相手を当てよう 12
- 6 あなたの推しはだ〜れ？ 14
- 7 何が食べたい？ 16
- 8 ネコはどこにいるの？ 22
- 9 道をたどろう 24
- 10 日本を旅行するならどこがいい？ 26



1

英語好き 100%を目指して



下は、中学3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」の質問紙調査結果の一部になります。

■『令和5年度 全国学力・学習状況調査 報告書 質問紙調査』 文部科学省 (2023)

	令和5年度	令和3年度	平成31年度	差
国語の勉強は好きですか	61.3%	60.8%	61.5%	－ 0.2
算数（数学）の勉強は好きですか	57.0%	59.3%	58.1%	－ 1.1
英語の勉強は好きですか	52.3%	56.9%	56.3%	－ 4.0

英語の好きな生徒の割合が、平成31年度に比べ、4ポイント減少し、52.3%という結果が出ました。52.3%ということ、約半数の生徒は英語が好きではないということになります。

ちなみに、「好き」と「わかる」には相関関係があります。

右下 図2 のグラフからわかるように、「英語が好きだ」と回答した生徒の平均正答率は60.2%であり、「英語が好きでない」と回答した生徒の平均正答率は33.8%でした。

つまり、**英語を好きにさせることが、英語をわかるようにする手立て**となります。また、その逆に、英語がわかるから好きになるという一面もあります。「好き」と「わかる」には、相関関係があるといえるでしょう。

その前提となるのが、「**授業が楽しい!**」ということになります。

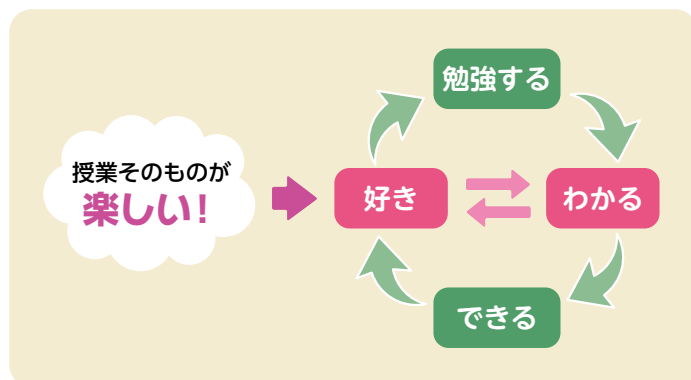


図1

令和5年度【中学校】 英語の勉強は好きですか

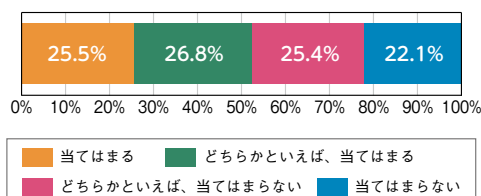
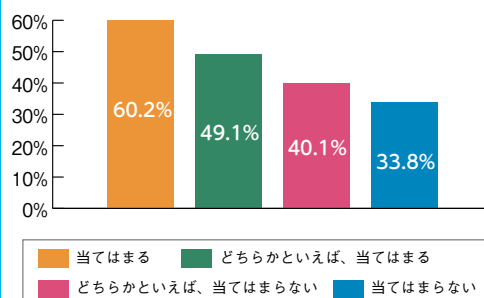


図2

令和5年度【中学校】 英語の平均正答率



※上下とも、令和5年度『全国学力・学習状況調査 報告書 質問紙調査』をもとに作成

一方、小学校における調査はどうでしょうか。

次の通り、**好きという割合が年々上がっています**。これはうれしいことです。しかし、好きと肯定的に回答している児童の割合が約 70%ということは、約 30%は好きでないということです。30 人学級でいうと、約 9 人が好きでないという実態になります。

■『全国学力・学習状況調査 報告書 質問紙調査』 文部科学省

英語の勉強は好きですか	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 3 年度	差
中学校	—	52.3%	56.9%	－ 4.6
小学校	69.3%	69.2%	68.3%	1

■『令和 4 年度 学習指導要領実施状況調査』 文部科学省

英語の勉強は好きですか	
小 5	68.8%
小 6	64.2%



数年前の私のゼミの学生の卒業論文が印象的でした。

小学校で英語が好きでない児童は、中学校に行ってもそのまま好きでない状態が続き、さらに、中学 1 年生で英語が好きでなくなった生徒は、その後も英語が好きでない状態が続くということでした。

つまり、**英語を好きにさせるかは、小学校における英語授業と、中学 1 年生の英語授業が勝負**であるということがわかりました。

2 楽しいがいちばん！



まずは、「楽しいがいちばん」と考えます。

教師にとって、まずできることは、**「楽しい」授業をすること**です。

「楽しい」とは、【がはは！！】という楽しさ、【わかった、できるようになった】という楽しさ、【英語が伝わった】という楽しさ、コミュニケーションの結果、【友だちのことを知ることができた】という楽しさなど、幅広い「楽しさ」があります。

fun な授業から、だんだんと、児童にとって interesting な授業になっていくのが望ましいといえます。

それが「英語好きな児童を育てる」ことにつながると思います。

何度も繰り返しますが、**その出発点は、「授業を楽しくすること」**です。

そのための努力は、教師は日々重ねる「楽しさ」があるでしょう。

1

プロフィール・カードを作ろう！

My name is ~.

時期 1 学期

ねらい 外国語活動で学習した内容を振り返る。

時間 25 分



Activityへのヒント



プロフィール・カードを使って自分を紹介することは、日常生活の中でも、経験したことのある活動だと思います。それを「英語で行おう！」というのが、このアクティビティです。ワークシートは表裏印刷し、最初は教師の自己紹介を聞き取ることから始めるとよいでしょう。そのため、表面用のシートには、あらかじめ教師の名前を記入し、真ん中に教師の似顔絵を描いたり、写真を貼ったりしておきます。



指導手順



1 教師のプロフィールを聞く



ワークシートを表裏印刷して児童に配布します。教師が自己紹介をするのを聞いて、児童はそれぞれの枠の中に絵を描き入れていきます。

T: Do you know about me?

Please listen and draw pictures.

Or you can write in Japanese.

聞いてわかったことを、絵で描いたり、日本語で書いたりするよう指示します。

T: My name is Hiroto Takizawa.

I like *natto* very much.

話す時は、**ゆっくり・はっきり**と聞かせます。必要に応じて、2～3度、繰り返して聞かせましょう。

T: My favorite fruit is strawberries.

I like strawberries the best.

They are sweet and easy to eat!

このように、情報を付け足すとよいでしょう。また、Others (その他) では、My favorite comic book や My favorite character など、内容は自由です。

なお、not の時は「×」を書かせます。例えば、I don't have a pet. と言ったら、「飼っている動物」の枠に「×」を書かせます。

2 自分のプロフィールを書く



今度は児童の番です。児童は意外と発信しがっています。

名前以外のところは、絵で描くようにします。うまく描けない場合は、文字で書いてもよいことを伝えておきましょう。

該当しない場合は、「×」を書き入れます。

3 自己紹介する



プロフィール・カードを見せながら、ペアやグループなどで、自己紹介をします。



プラスワン



最終的に、清書用紙を渡し、完成したものを掲示物として、学級内に貼ってもよいでしょう。それにより、児童同士がお互いをよく知ることもになります。

This is Me!

Name 名前

Favorites

Vegetable
野菜

Food
食べ物

Fruit
果物

Drink
飲み物

Color
色

Others
その他

ほしいもの

スポーツ

飼っている動物

2

好きな教科はな～に？

What subject do you like?

時期 1 学期

ねらい 好きな教科とその理由を伝え合う。

時間 15 分



Activityへのヒント



考えや気持ちを伝える際、【理由】を付け加えることは、重要なポイントとなります。中学校の全国学力・学習状況調査の「話す・書く」では、考えに【理由】を付け足すことが求められています。小学生のうちから、考えに【理由】を付け足すことを習慣にしましょう。



指導手順



① クイズで教科名を復習する



クイズ形式で教科名を振り返ります。
答えを確認したら、教科名のイラストを黒板に貼っていきます。

T: What subject is this?

We write *kanji*, *hiragana* or *katakana* on white paper.

We use black ink and a brush.

Ss: Calligraphy.

T: Right! (書写の絵を黒板に貼る)

How about this subject?

We go to the playground and run.

Ss: P.E.

T: Good! (体育の絵を黒板に貼る)

Do you like P.E.?

黒板に貼られた教科の絵を指差しながら、教科名とその発音を確認します。

② 〈好き・好きでない〉調査をする



黒板に貼られた教科の絵を順番に指差しながら、Do you like calligraphy? などと尋ねます。児童に手を挙げさせ、黒板に人数を書いておきます。好きであれば、何度も手を挙げてよいことを伝えておきましょう。

③ 好きな教科と、その【理由】を知る



教師が小学校の頃に好きだった教科とその【理由】を話します。

T: Look. This is a picture of me.

I had three favorite subjects.

First, I liked math.

I liked 計算.

It's interesting. (絵 1)

Second, I liked home economics.

I liked cooking.

It's fun. (絵 2)

Third, I liked P.E.

I liked running.

It's exciting! (絵 3)

ワークシートを配布し、教科名と【理由】を表す単語とその発音を確認します。



④ 好きな教科に、【理由】を付け足す



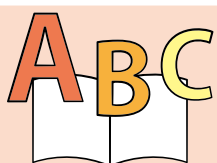
児童に好きな【理由】を尋ねます。この段階では、しっかり言えなくてもよいでしょう。単元を通して繰り返し使っていると、少しずつ言えるようになってきます。その後、児童同士で尋ね合わせます。

What subject do you like?

教科名



Japanese



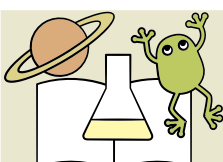
English



math



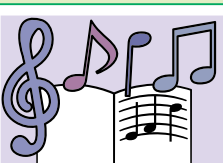
social studies



science



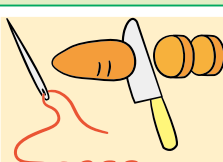
P.E.



music



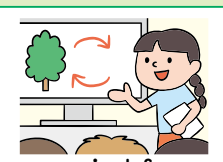
arts and crafts



home economics



calligraphy



period for integrated study



moral education

理由



fun



exciting



interesting



relaxing



creative



easy



ほかにも、こんな理由で伝えてもいいね！

- 例 ① 料理をするのが好きだから。
I like cooking.
- ② 走るのが好きだから。
I like running.

はてな？

友だちは、どんな教科が好きで、
どんな理由が多いのかな？



3

誕生日で Who am I? クイズを作ろう!

When's your birthday?

時期 1 学期

ねらい 誕生日の言い方に慣れ親しむ。

時間 25 分



Activityへのヒント



誕生日が言えるようになるには、「月名」と「日付」の知識が必要です。しかしそれらは、中学生にとっても困難な学習です。まして小学生にとっては難しい学習内容といえます。それを理解したうえで、月名は「歌」で、毎時間の帯学習で歌いながら、楽しく児童の記憶に残るようにしていくとよいでしょう。



指導手順



① Who am I? クイズ



児童はクイズが大好きです。今回は、Who am I? クイズの中に、誕生日を入れて出題します。

T: Who am I? クイズ。

わかったら、黙って手を挙げてね。

Hello. I am an anime character.

My birthday is September 3rd.

S1: わかった!

T: 黙って手を挙げてね。

I am a cat, but I don't have ears.

Ss: (うんうんと頷く)

T: I don't like mice.

I like *dorayaki*!!

Who am I?

One two!

Ss: Doraemon!

T: That's right.

His birthday is September 3rd.

② Step1 クイズのアイデアを練る

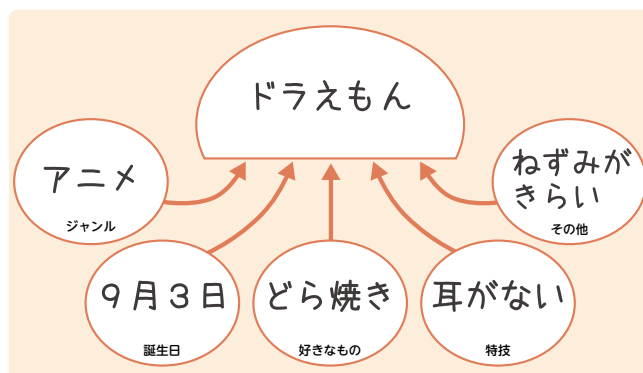


ワークシートを配布します。たっぷり時間を与え、いろいろなキャラクター等の誕生日を調べさせます。誕生日を調べさせながら、Who am I? クイズのネタを見つけさせます。

③ Step2 クイズの構成を考える



教師の例をスライドで映し出しておき、Who am I? クイズの構成を考えさせます。



④ クイズをタブレットに録音する



ロイロノート等が使用可能であれば、Who am I? クイズ用に、スライドを作成させます。

そのスライドにクイズを録音させて提出させると、次の時間以降、授業の最初に、2～3名の Who am I? クイズを聞かせ、全員で答えを推測する活動を行うことができます。

ニやるほど!



Who am I? たん じょう 誕生日クイズ

Step1

キャラクターやアーティスト、先生の誕生日などを調べましょう。

例

ドラえもん	●身長は？ []
月 日	●体重は？ []

ジャイアン	●本当の名前は？ []
月 日	●好きなものは？ []

サザエさん	●本当の名前は？ []
月 日	●好きなものは？ []

コナン	●本当の名前は？ []
月 日	

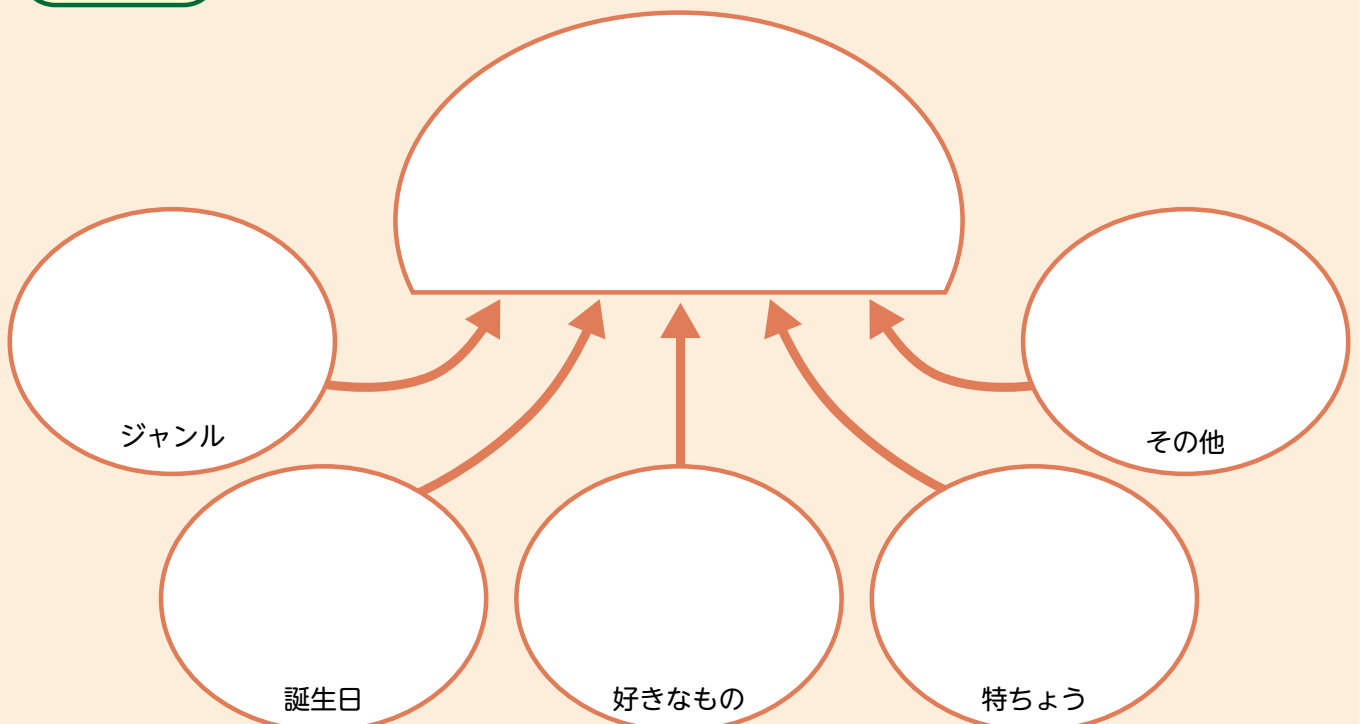
ミッキーマウス	●特ちょうは？ []
月 日	

[]先生	●特ちょうは？ []
月 日	●好きなものは？ []

その他

Step2

誕生日を入れながら、Who am I? クイズを考えましょう。



4

My 放課後ルーティーン

What do you do after school?

時期 1 学期

ねらい 自分の日課を伝えることができる。

時間 20 分



Activityへのヒント



「日課」も小学校英語の定番表現です。放課後の過ごし方は、それぞれ違います。だからこそ、お互いを知る、よいコミュニケーションとなります。前時にモーニング・ルーティーンをやった後、「今度は、放課後の過ごし方が知りたいな～」と誘導するとよいでしょう。



指導手順



1 前時の学習を振り返る



日課表現における基本的な質問を児童に投げかけます。

T: What time do you usually get up?

S1: I usually get up at 7:00.

T: What do you do after that?

S1: I wash my face. I have breakfast.

I brush my teeth. I get dressed.

I go to school. ...

T: Good! Today, I want to know your "After School Routine."

2 Step1 教師のルーティーンを聞く



ワークシートを配布した後、教師が家に帰ってから寝るまでのルーティーンを紹介します。

T: I'll tell you about my "After School Routine."

Listen and write numbers.

T: I get home.

First, I always take a bath.

I like taking a bath.

Next, I make my dinner.

I eat dinner.

I watch TV and relax.

Then, I go to bed at 9:00.

その後、聞き取った順に、番号を書かせます。

3 Step2 放課後のルーティーンを考える



教師のルーティーンを聞いている段階から、児童は自分のルーティーンについて思いを巡らせ、ワクワクしていることと思います。

ワークシートの Step2 では、児童自身の放課後のルーティーンを考えさせ、番号を書き入れるよう指示します。

4 スライドを作成する



ロイロノート等を用い、発表スライドを作ります。

ロイロノートでは、ワークシートにあるイラストを、1枚のカードにつき1点ずつ貼り付けておき、それを事前に児童に送っておきます。

すると、児童は必要なカードを選び、それらを並べ替えてつなげることで、簡単に自分のルーティーンを作成することができます。

その後、班で1人ずつ発表します。

My 放課後ルーティーン

1  get home	2  do my homework	3  play computer games	4  enjoy chatting
5  watch TV	6  read books	7  eat dinner	8  take a bath
9  dance	10  play the piano	11  wash the dishes	12  help at home
13  play sports	14  study	15  sing	16  walk my dog
17  make dinner	18  go to bed	19  feed my dog	20  clean my room

Step1

先生の放課後のルーティーンを聞き取り、行う順に番号を書きましょう。

1











18

Step2

あなたの放課後のルーティーンを、行う順に番号を書きましょう。











5

can を使って相手を当てよう

I can sing well. I can't run fast.
Can you cook?

時期 2学期

ねらい 「～できる」の表現に慣れ親しむ。

時間 10分



Activityへのヒント



今回のアクティビティは、2種類のゲームが可能です。1つは、can の肯定文・否定文を使って相手を当てていくゲームです。もう1つは、can の疑問文を使って相手を当てていくゲームです。この2種類のゲームは、日を変えて行うとよいでしょう。



指導手順



① カードの見方を理解する



右ページのカードを上下2枚に切り分け、1人1枚ずつ配布します。はじめに、表の見方を教えます。

- ① 左の縦列に人物名がある。
- ② 上の横列に動作がある。
- ③ ○はできること、×はできないことを表す。

例えば、「マキは、料理が上手で、将棋はできず、速く走れないが、泳ぐことはできて、歌を上手に歌える」と見ます。

② ゲームのやり方を理解する



まず、教師が英語を聞かせて、誰のことを言っているかを当てさせます。

T: 今から先生が7人の誰かになります。

当ててみてください。

T: I can play shogi, but I can't cook well.

(必要に応じ、数回繰り返す)

Ss: Jimmy!

T: Good.

そんな風に当てていきます。もう1人やってみましょう。

③ ゲームをする



T: 7人の中から1人選び、鉛筆で名前を○で囲んでください。

T: 今から、○で囲んだ人物になってやりとりします。

【やり方】

- ① じゃんけんをする。
- ② じゃんけんに負けた人は、「できること」と「できないこと」を1つずつ言う。
- ③ じゃんけんに勝った人は、それを聞いて、相手が誰かを当てる。
- ④ 当てたら、相手のカードをもらうことができる。
- ⑤ 手元にカードがなくなった人は、教師のところにカードを取りに来る。

プラスワン

2つめのゲーム

同じカードで、疑問文を使ったゲームができます。じゃんけんに勝った人が、2つだけ質問できます。1回目の質問の後、相手の答えを聞いて、2つめの質問をします。その答えを聞いて、相手が誰かを当てたらカードがもらえます。

Can ゲーム

	 cook well	 play shogi	 run fast	 swim	 sing well
Maki	○	×	×	○	○
Kenta	×	×	○	○	○
Yumi	○	×	○	×	○
Jimmy	×	○	×	○	×
Hiro	○	○	×	×	○
Ayumi	○	×	×	○	×
Emi	×	×	○	○	×

Can ゲーム

	 cook well	 play shogi	 run fast	 swim	 sing well
Maki	○	×	×	○	○
Kenta	×	×	○	○	○
Yumi	○	×	○	×	○
Jimmy	×	○	×	○	×
Hiro	○	○	×	×	○
Ayumi	○	×	×	○	×
Emi	×	×	○	○	×

6

あなたの推しはだ～れ？

Who's your favorite person?

時期 2学期

ねらい 「推し」を紹介することができる。

時間 25分



Activityへのヒント



「推し」を紹介するアクティビティです。「推し」とは、愛着を持ち、熱心に応援しているアイドルや俳優、人物、キャラクター、モノなど、他の人に推薦したいほど好きで、生きがいや喜びを感じる対象を指します。今まで習った表現と、新しく学習する表現を組み合わせることで、だんだんと他己紹介ができるようにしていきます。



指導手順



1 教師の「推し」を紹介する

5 min

スライドを利用して、教師の「推し」を紹介します。必要に応じ、特徴などを表す絵を黒板に貼りながら、残していくとよいでしょう。

T: This is my favorite character.

He's kind and brave.

He can fly.

He can help many people.

He's good at making people happy.

His birthday is October 3rd.

Who's this?

Ss: アンパンマン！

2 「推し」について考える

10 min

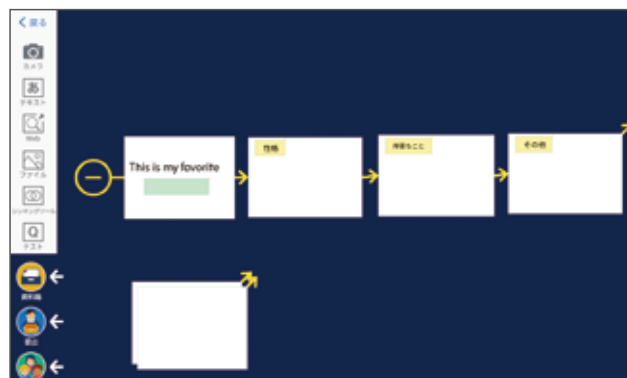
ワークシートを配布します。Yチャートを用いて、「推し」について調べたことを整理させます。

3 スライドを作成する

10 min

発表用にスライドを作成させます。スライドを作成しながら、内容を整理させます。「特ちょう」のイラストは、児童にあらかじめ配布しておくといよいでしょう。

また、ロイロノートでは、次のように、どのカードに何を書くのかを指定したものを児童に送ってくと、手がつかない児童にとって、よい支援になります。



最初のカードには、This is my favorite (). と書いておき、その後のカードには「特ちょう」「得意なこと」「その他」と書いたカードを置き、それらをつなげると仕上がります。

また、最後に、Who's this? のカードを入れて、クイズ形式にしてもよいでしょう。

ペアやグループで発表したり、録画したりして、提出させるなどします。

「推し」の話は
みんな大好きです！



あなたの^お推しはだ～れ？

クラスみんなに知ってもらいたい、あなたの「推し」はだれですか？
その人物について調べて書きましょう。英語、日本語、どちらでもかまいません。

特ちょう

とく い
得意なこと

その他

特ちょうを表す言葉



active



brave



cheerful



cool



creative



cute



famous



friendly



funny



gentle



kind



popular



smart



strict



strong

7

何が食べたい？

What would you like?

時期 2学期

ねらい レストランで注文することができる。

時間 13分



Activityへのヒント



What would you like? - I'd like ~. 等の表現を学習した後に行うアクティビティです。メニューを渡し、店員とお客に分かれて注文をします。メニューには、値段が書かれていないところがあります。それにより、How much is it? と、尋ねる練習ができます。



指導手順



1

基本表現を振り返る



メニューをもとに、数名の児童に「何が食べたいか」を尋ねます。値段が書かれていないところは、自分で値段を決めることができます。

T: Look at the menu.

You can see Japanese food, Western food, Asian food, dessert and fast food.

What would you like?

S1: I'd like Western food.

T: Oh, you want Western food.

What would you like?

S1: ハンバーグっていくら？

T: How much is the hamburger steak?

It's 800 yen.

S1: I'd like the hamburger steak.

T: Just the hamburger steak?

With rice?

S1: ライスはいくら？

Ahhh, how much is the rice?

T: Good. It's 500 yen.

S1: 500 yen?

Just hamburger steak.

このように、学習した英語を用いて、食べたいものを尋ね、基本表現を振り返らせます。

その後、基本表現を板書します。

板書例

店員: What would you like?

お客: I'd like ~.

How much is the ~?

店員: It's ~ yen.

お客: Do you have ~?

店員: Yes. We have ~.

2

レストランで注文する



3人1組になり、1人が店員、2人がお客という役割で、注文の疑似体験をさせます。

S1: Welcome to the ABC Restaurant.

What would you like?

S2: How much is *sushi*?

S1: *Sushi*? It's 1,000 yen.

S2: OK. I'd like *sushi*.

Do you have *miso* soup?

S1: Yes.

また、右ページのような「場面カード」を渡し、それぞれの場面に合わせて英語を使わせてもよいでしょう。

注文票

料理	数	金額(単価) きん がく たん か	合計金額

場面カード

場面 A

あなたは、友だち2人とランチを食べに行きます。予算は、2人で3,000円です。どこに行くか相談して、メニューを注文しましょう。

場面 B

あなたは、外国人の友だちと食事します。その友だちは日本の食べ物をよく知りません。メニューを説明して、いっしょに注文しましょう。

場面 C

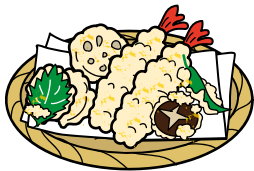
あなたは、友だちとシェアして食べる予定です。いくつかの料理を選び、どれにするか相談して注文しましょう。

場面 D

あなたは、友だちの誕生日たんじょうのお祝いをするために、レストランへやって来ました。特別な料理やデザート注文しましょう。

MENU

Japanese Food



tempura
¥800



sushi
¥ ()



sukiyaki
¥1,500



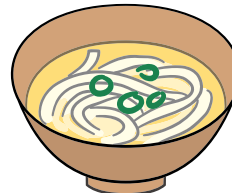
shabu-shabu
¥1,500



seafood bowl
¥1,500



soba
¥ ()



udon
¥ ()



grilled fish
¥650



omelet rice
¥ ()



cutlet
¥1,000



pork cutlet bowl
¥800



chicken and egg bowl
¥ ()



ramen
¥ ()



fried shrimp
¥700

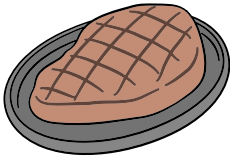


rice
¥ ()



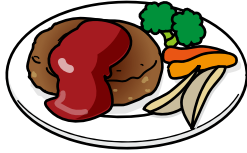
miso soup
¥100

Western Food



steak
(ステーキ)

¥ ()



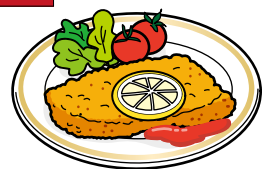
hamburger steak
(ハンバーグ)

¥800



paella
(パエリア)

¥1,200



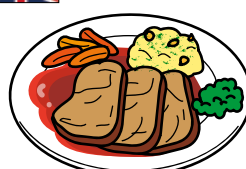
Wiener Schnitzel
(ヴィーナー・シュニッツェル)

¥900



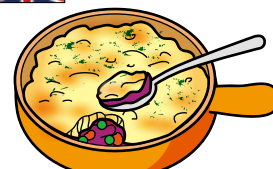
fish and chips
(フィッシュ&チップス)

¥900



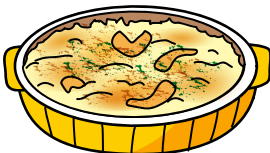
Sunday roast
(サンデーロースト)

¥1,000



shepherd's pie
(シェパーズパイ)

¥700



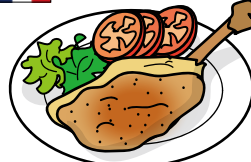
gratin
(グラタン)

¥ ()



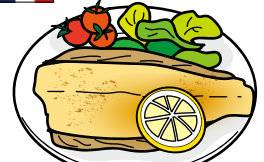
quiche
(キッシュ)

¥900



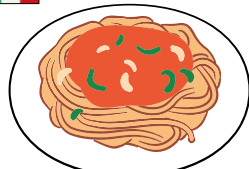
confit
(コンフィ)

¥700



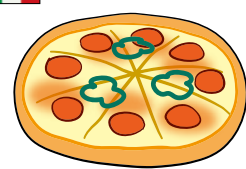
meuniere
(ムニエル)

¥800



spaghetti
(スパゲティ)

¥ ()



pizza
(ピザ)

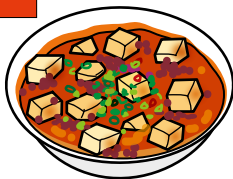
¥ ()



lasagna
(ラザニア)

¥ ()

Asian Food



mapo tofu

(麻婆豆腐)

¥ ()

green pepper
steak

(青椒肉絲)

¥ 800



fried rice

(炒飯)

¥ ()



almond jelly

(杏仁豆腐)

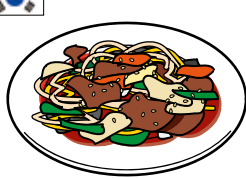
¥ ()



bibimbap

(ビビンバ)

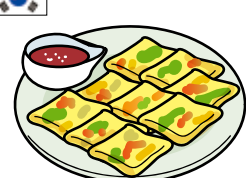
¥ 700



bulgogi

(プルコギ)

¥ 800



Korean pancake

(チヂミ)

¥ 600



gimbap

(キンパ)

¥ 600



sisig

(シシグ)

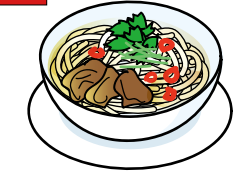
¥ 600



halo-halo

(ハロハロ)

¥ 400



pho

(フォー)

¥ 500



banh mi

(バインミー)

¥ 400

Dessert



cake

¥ 500



ice cream

¥ 400



parfait

¥ 600



pudding

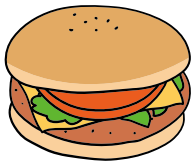
¥ ()



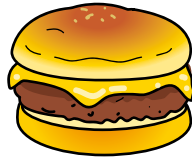
yogurt

¥ 400

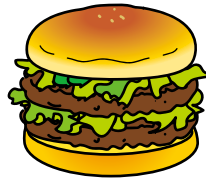
Fast Food



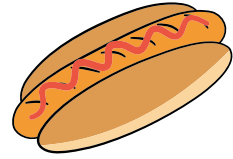
hamburger
¥400



cheeseburger
¥ ()



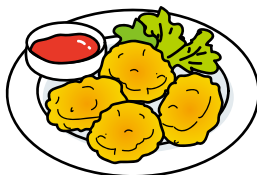
double burger
¥600



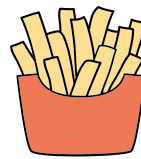
hot dog
¥450



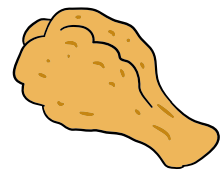
salad
¥300



chicken nuggets
¥ ()



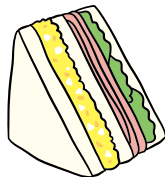
French fries
¥400



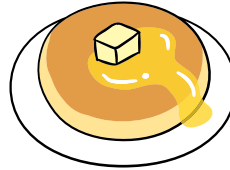
fried chicken
¥400



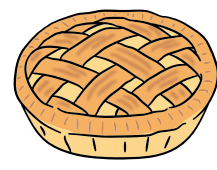
onion rings
¥400



sandwich
¥ ()



pancake
¥400



pie
¥500



soda
¥200



orange juice
¥200

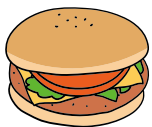


tea
¥300



coffee
¥350

Combo A



hamburger / French fries / drink
¥750

Combo B



double burger / salad / drink
¥ ()

8

ネコはどこにいるの？

Where's the cat?

時期 3学期

ねらい 場所を表す前置詞を正確に伝えることができる。

時間 20分



Activityへのヒント



場所を表す前置詞の定着を目標にした活動です。Small Step で、最初は、教師が言う絵を指させたり、絵を切り取ってビンゴゲームをしたりします。最終的には、絵を見て、ネコがどこにいるのかを言うことができるようにします。



指導手順



① タッチゲームで語彙を聞き取る

3 min

ワークシートを配布し、教師が言う絵を児童が指していきます。

T: Look! The cat is on the car.

Where's the cat?

Ss: (絵を指差す)

T: Check with your partner.

Ss: (隣の児童と確認する)

ネコが終わったら、ヘビでもやってみます。

② 4×4のカードビンゴを行う

12 min

ワークシートの絵をハサミで切り取ります。
16枚のカードを4×4で、自由に並べさせます。

配置例です！



児童は、教師が言う内容に合うカードを裏返していきます。

縦、横、斜めいずれか4枚カードが裏返ったらビンゴです。

得点は、最初にビンゴになったら10点、次は8点、その次は6点…というように、2点ずつ減らしていき、2点の下は1点とし、1点で終了です。ビンゴにならなかった場合の「No Bingo」は20点とします。「No Bingo」はなかなかならないので、得点を高く設定します。

③ 絵を見て、場所を伝える

5 min

スライド等で絵を見せます。教師がWhere's the cat? と質問し、児童に答えさせます。

T: Where's the cat? (絵を見せる)

Ss: The cat is ... on the car.

T: Good. Repeat.

The cat is on the car.

Ss: The cat is on the car.

プラスワン

カードを3×3で並べ、9文読み上げた時点で、ビンゴになった数で競わせる方法もあります。

Where's the cat?



on



in



under



by



in front of



behind



next to



between

Where's the snake?



on



in



under



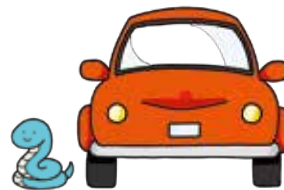
by



in front of



behind



next to



between

9

道をたどろう

Go straight. Turn right at the second corner.

時期 3学期

ねらい 道を正しくたどることができる。

時間 15分



Activityへのヒント



「道案内」は、現実的に英語を使う場面が多い反面、児童にとっては難しい学習内容といえます。授業では、つい発話を促したくなりますが、十分に聞かせることが重要です。まずは、道案内を聞いて、正しく道をたどることが大事です。



指導手順



1

道案内の表現を確認する



次のような図形を用いて、基本表現を確認します。



Go straight.



Turn right.



Turn left.



It's on your right.



It's on your left.



It's next to A.



It's across from A.



It's between A and B.

2

教師が話す道案内を聞く



ワークシートを配布します。

教師の道案内を聞いて、児童は道をたどります。

T: 今から、皆さんをいろいろな場所にお連れします。

よく聞いて、指で道をたどりましょう。

You are at **C**, in front of the station.

Ss: O.K.

T: Go straight.

Turn right at the second corner.

Go straight.

Turn left at the first corner.

Go straight.

It's on your left.

It's across from the post office.

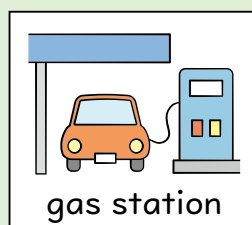
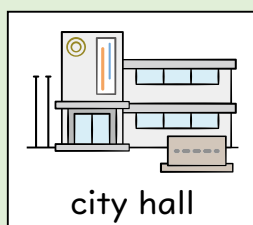
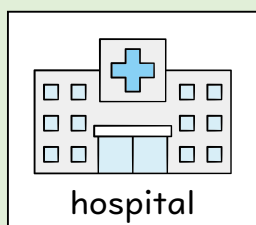
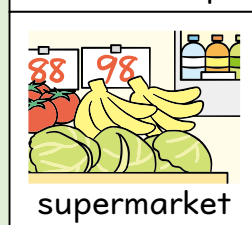
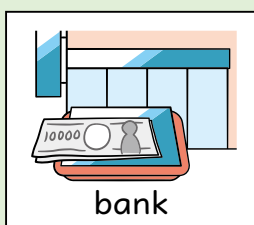
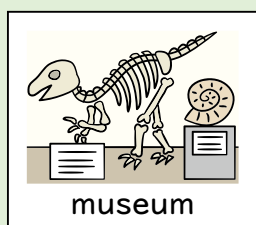
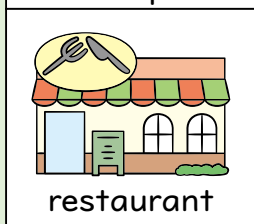
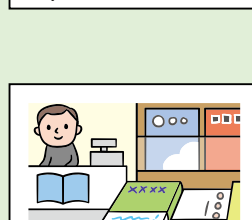
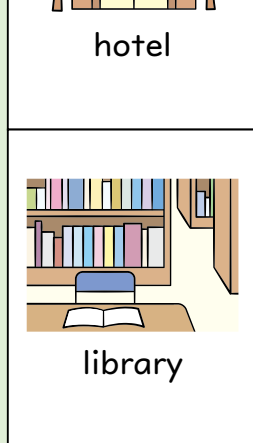
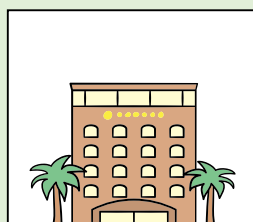
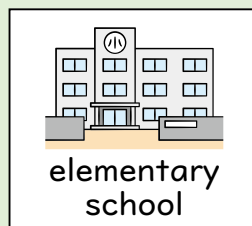
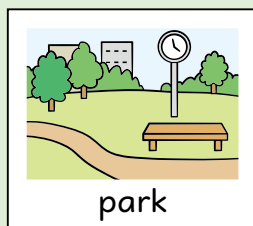
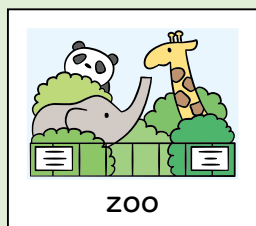
Ss: わかった！ Hotel.

T: That's right!

最初、難しい場合は、隣の児童と一緒に道をたどらせるのもよいでしょう。

これを何度も繰り返しながら、道案内の表現に慣れ親しませていきます。

道案内



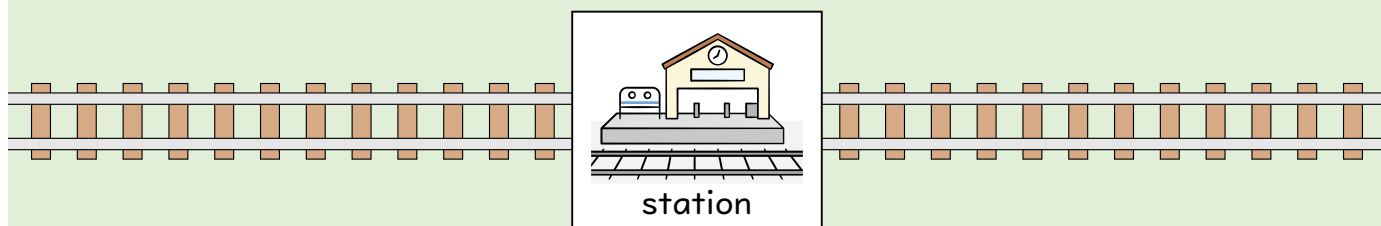
A

B

C

D

E



10

日本を旅行するならどこがいい？

Where do you want to go?

時期 3学期

ねらい 外国人におすすめの場所を伝えることができる。

時間 25分



Activityへのヒント



行きたい国を紹介するのは、小学校英語の定番です。そのパラレル課題として、日本を話題にし、おすすめの場所を紹介する活動を行います。今までに行ったことのある場所や、自分が今、行ってみたい場所、興味のある場所などを紹介する活動でもよいでしょう。



指導手順

1 Small Talk
「どの国に行きたい？」

行きたい国について、児童と Small Talk を行います。

T: Look at these pictures.

I want to go to this country.

We can see many sheep in this country.

The scenery makes me feel relaxed.

I want to go to the Lake District.

It's a beautiful place.

I want to see Peter Rabbit, too.

I want to eat fish and chips.

Where do you want to go?

S1: I want to go to Italy.

T: Tell me why?

S1: I want to eat pizza.

It's delicious.

I want to see the Colosseum.

I want to play soccer.

T: Cool.

その後、ペアで Small Talk を行わせます。

T: Make pairs.

児童は机を向かい合わせにします。

T: Let's talk about your favorite country.

ぜひ、「Small Talk のできる児童」を育てたいと思います。目標は、小学5年で1分間、小学6年で2分間です。

2 Step1
おすすめの場所を考える

ワークシートを配布し、3人の外国人の人物像を説明します。児童は、その中から1人を選び、「おすすめの日本」を紹介します。

まず、Step1として、おすすめの場所についてアイデアを練ります。その際、タブレットを活用してもよいでしょう。

3 Step2
英語で伝える

ペアで活動します。1人が日本人、もう1人が外国人になって、おすすめの日本を紹介し合います。

S1: Hello, Nene.

This is Tokyo Disneyland.

You can ride many attractions.

They are fun.

You can enjoy Tokyo DisneySea, too.

You can ride a boat.

You can meet Disney characters.

Do you like Disney?

S2: Yes. I want to see Mickey Mouse.

伝え合う時間をそれぞれ2分程度とりながら、終わったら交替します。

おすすめの日本

次の外国人に、日本のおすすめの場所をしょうかいすることになりました。
どこをしょうかいし、その場所のみりよくをどのように伝えますか。
3人とも、日本の滞在日数は10日間です。



James (ジェームズ)

メキシコ人。日本が大好きで、日本に2回来たことがある。東京と大阪は旅をした。



Merissa (メリッサ)

ドイツ人。初来日。自然が好きで、観光もしたい。日本のことをいろいろ学びたい。



Nene (ネネ)

フィリピン人。歴史や伝統文化、アニメに興味がある。遊園地、体を動かすのが好き。

Step1

3人の中から伝える相手を1人選びます。その人に、日本のどこをおすすめしますか。思いついた考えをアイデアマップに書いていきましょう。

おすすめの日本

場所

Step2

友だちを外国人として、おすすめの日本をしょうかいしましょう。

特番授業 サイコロトーク

小学5年で学習する 基本フレーズ集 ① ②



特番授業 サイコロトーク

ねらい 基本表現を用いて、与えられたテーマで1分間、会話を継続する。

- 準備**
- ① サイコロ用紙を配布し、サイコロを作らせる。(または教師が作成する)
 - ② 4人グループをつくる。

- やり方**
- ① 順番にサイコロを振り、出たトピックで会話をする。
 - ② 1分間、話し続けることを目標に行う。

例 Daily Life

S1 : I usually get up at 7:00.

I have breakfast. I brush my teeth.

I check my school bag. I leave home at 8:00.

What time do you get up?

S2 : I usually get up at 6:00.

S1 : Oh, that's early! How about S3?

S3 : I usually get up at 6:30.

⋮

学習した表現を
活用できると
いいね！



小学5年で学習する 基本フレーズ集 ① ② → p.30~31

ねらい 小学5年で学習した基本表現を振り返り、日本語を見て英語で言える。

- 準備**
- ① ワークシート(p.30、p.31)を表裏で印刷する。
 - ② ワークシートを児童に配布する。

- やり方**
- ① ワークシートを見ながら、教師の後に続いて言うことを繰り返させる。
 - ② ワークシートを真ん中で折り、日本語だけを見て、英語で言えるように練習する。
 - ③ ペアになり、じゃんけんさせる。
 - ④ じゃんけんに勝った人は日本語、負けた人は英語を言う。
 - ⑤ 徐々に、ワークシートを見ないで言わせたり、答えの部分を自分のことに置き換えて言わせたりする。
 - ⑥ 上記を帯活動として毎時間繰り返し、すらすら言えるように練習させる。

楽しく練習して
いるうちに
身につきます。



サイコロトーク

どの目が出るか
楽しみ♪



**Daily
Life**

意外な話題が
飛び出して
もり上がるかも♪



Country

のりしろ

**What are you
good at?
What can you
do?**

のりしろ

Birthday

のりしろ

Subject

のりしろ

のりしろ

**Favorite
Food**

のりしろ

いろいろな
テーマがあるので、
話しやすいね!



のりしろ



日本語

自己しょうかい

- 1 私はさくらです。
- 2 私はりんごが好きです。
- 3 私はバナナが好きではありません。

教科・時間わり

- 4 どの教科が好きですか。
- 5 私は算数が好きです。
- 6 それは楽しいです。
- 7 月曜日には何の教科がありますか。
- 8 月曜日には理科があります。

誕生日

- 9 あなたの誕生日はいつですか。
- 10 私の誕生日は1月1日です。
- 11 誕生日に何がほしいですか。
- 12 私は手ぶくろがほしいです。

1日の生活

- 13 あなたは何時に起きますか。
- 14 私は7時に起きます。
- 15 家でお手伝いをしますか。
- 16 はい、します。
- 17 私は、いつも犬の散歩をします。

できること

- 18 あなたは速く走れますか。
- 19 はい。私は速く走れます。
- 20 いいえ。私は速く走れません。

英語

self-introduction

- 1 I'm Sakura.
- 2 I like apples.
- 3 I don't like bananas.

subjects / classe schedule

- 4 What subject do you like?
- 5 I like math.
- 6 It's fun.
- 7 What do you have on Monday?
- 8 I have science on Monday.

birthday

- 9 When's your birthday?
- 10 My birthday is January 1st.
- 11 What do you want for your birthday?
- 12 I want gloves.

daily routine

- 13 What time do you get up?
- 14 I get up at 7:00.
- 15 Do you help at home?
- 16 Yes, I do.
- 17 I always walk the dog.

skills

- 18 Can you run fast?
- 19 Yes, I can. I can run fast.
- 20 No, I can't. I can't run fast.



日本語

身近な人のしょうかい

- 21 こちらはアヤです。
- 22 彼女はテニス^{かのじょ}が得意^{とく い}です。
- 23 こちらはだれですか？
- 24 こちらは私の^{わたし}母です。
- 25 彼女は親切^{しんせつ}です。
- 26 あなたは料理^{りょうり}が得意ですか。

料理・金額^{きん ぐ}

- 27 何になさいますか。
- 28 ピザをください。
- 29 いくらですか。
- 30 これはまんじゅうです。
- 31 それは、あまくておいしいです。
- 32 私はそれが好きです。

位置・場所

- 33 犬はどこにいますか。
- 34 それはいすの上にいます。
- 35 公園はどこですか。
- 36 動物園のとなりにあります。

行ってみたい国

- 37 あなたはどこへ行きたいですか。
- 38 私はイタリアへ行きたいです。
- 39 イタリアへ行きましょう。
- 40 私たちはピザを食べられます。

英語

introduction of others

- 21 This is Aya.
- 22 She's good at playing tennis.
- 23 Who's this?
- 24 This is my mother.
- 25 She's kind.
- 26 Are you good at cooking?

food / prices

- 27 What would you like?
- 28 I'd like pizza.
- 29 How much is it?
- 30 This is *manju*.
- 31 It's sweet and delicious.
- 32 I like it.

location / direction

- 33 Where's the dog?
- 34 It's on the chair.
- 35 Where's the park?
- 36 It's next to the zoo.

country

- 37 Where do you want to go?
- 38 I want to go to Italy.
- 39 Let's go to Italy.
- 40 We can eat pizza.



この教授用資料は弊社ＨＰよりダウンロードしていただくことが可能です。
ワークシートを印刷する際には、ぜひこちらをご活用ください。

小5の基本表現

指道アイデア

こんな風にやってみたら？



—— 知が啓く。——
啓林館

本社 〒543-0052 大阪市天王寺区大道4丁目3番25号

東京支社 〒113-0023 東京都文京区向丘2丁目3番10号

北海道支社 〒060-0062 札幌市中央区南二条西9丁目1番2号 サンケン札幌ビル1階

東海支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目15番20号 ie丸の内ビルディング1階

広島支社 〒732-0052 広島市東区光町1丁目10番19号 日本生命広島光町ビル6階

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目5番6号 ハイヒルズビル5階

tel 06-6779-1531

tel 03-3814-2151

tel 011-271-2022

tel 052-231-0125

tel 082-261-7246

tel 092-725-6677

URL <https://www.shinko-keirin.co.jp>

令和8年8月

教授用資料